

Rotary



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

国際ロータリー・テーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

(国際ロータリー会長 シェカール・メータ)

地区スローガン

活力と輝き ーロータリーの基本を大切にー

(第2650地区ガバナー 馬場益弘)

彦根RC会長テーマ

明るく 楽しい ロータリーライフを

(彦根ロータリークラブ会長 青木笠峰)

認 証 1952年10月27日
 例 会 毎週木曜日 12時30分～13時30分
 例会場 彦根ビューホテル TEL 0749-26-1111
 〒522-0063 彦根市中央町3-8 彦根商工会議所3階
 事務局 TEL 0749-23-2101 FAX 0749-26-9272
 E-mail: hikonec@topaz.ocn.ne.jp http://www.hikone-rc.org/

2021～2022年度 会 長 青木笠峰 会長エレクト 細江正人
 副会長 渡邊僖子 幹 事 上田勝之
 会 計 小田柿喜暢 S A A 秋野正誠

彦根城を世界遺産に

彦根城長橋口跡



彦根城は、中堀に面して4つの城門が開いていました。その1つが長橋口門です。彦根城内の山崎曲輪の手前に山崎御門があり、その外側にあたります。東の佐和口、南の京橋口、西の舟町口とともに、彦根城の4つの門の1つですが、現在は使われておりません。
 (彦根観光協会HPより)

お祝い

会員誕生日 松田充弘君(3月25日)
 澤田和重君(3月26日)

ご夫人誕生日 小椋君ご夫人紀代子さん(3月27日)

結婚記念日 松田君ご夫妻(3月20日)
 青木君ご夫妻(3月28日)
 上西君ご夫妻(3月29日)

入会記念日 渡邊僖子君(2006年3月30日)
 小島充子君(2006年3月30日)

幹事報告

1. ウクライナ人道危機救援金、クラブより200,000円、有志の会員の皆様からの396,000円を3月18日、日本赤十字社へ送金させていただきました。

この救援金は赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟、各国赤十字社が実施するウクライナでの人道危機対応及びウクライナからの避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における救援活動の支援に使用されます

2. 4/23開催のIMですが、開催方法を下記の通り変更されることになりました。

- ◇リモートを併用したハイブリッド方式で開催。
- ◇各クラブの参加者数は会長・幹事を含め5名以内。
- ◇登録受付時間を12:30～。(式典13:00～16:25)
- ◇懇親会はなし。
- ◇開催会場を変更。(リモート機材の関係上)

ヴォーリズ学園本館 ヴォーリズ平和礼拝堂(5階)
 つきましては、当日会場へ参加する会員は、会長、幹事出席委員長に決めさせていただきました。

他の会員様については、後日リモート用のURLをお送りさせていただきます。独自の懇親会は中止とさせていただきます。

第3344回例会

2022.3.24

開会点鐘

ロータリーソング斉唱

「それでこそロータリー」

ビジター紹介

会長の時間

幹事報告

委員会報告

ニコニコ箱報告

出席報告

卓話

「アドリブ」

担当：川原崎清三 君

閉会点鐘

於. 料亭旅館 やす井

今日の食事

幕の内弁当

次回例会案内 (2022.3.31)

「私の仕事」

担当：浅山禎信 君

ガイ散策 クラブリーダーとクラブ運営

当該年度のスケジュール(年間プログラム)を策定する理事会では、「徹底的な協議をしなければならない」と述べています。徹底的な協議の対象は、その年間プログラムが国際ロータリー(RI)や地区の目標、クラブ会長方針などの実現に、果たして役立つ内容なのか、会員自身や事業の向上にとって、間違いなく有意義な内容なのか、の2点と云ってよいでしょう。つまり、前年度の踏襲ではなく、その年度にふさわしい価値あるプログラムの策定に尽力しなければなりません。

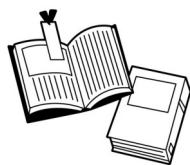
ロータリアンは、誰もが忙しい中、時間をやりくりして例会に出席します。それは、食事のためではなく、例会に身を置きたいと思う何かがあるからです。だからこそ会長には、その何かを提供している、という認識と自負が必要です。その何かとは、仲間との交友、例会プログラム、そして、心洗われる会長スピーチの三つでしょう。特に会長スピーチは、会長が唯一の実行者で、かつ唯一の責任者であり、会員の士気を高めるためにも、会長に対する信頼と敬愛の念を会員の心に醸成していくためにも、そしてクラブの活性化をもたらすためにも、会長にとって最大の武器なのではないでしょうか。(ロータリーの友3月号より抜粋)

私の趣味

嶋津慶子

仕事、子育て次は仕事、介護でやっと解放されたと思ったら今度は仕事、孫のお世話。その末孫も4月から小学生。これから空いた時間をどう過ごそうかなあと思ったら私には趣味と言えるものが無い事に気づいて愕然。今から趣味さがしです。

本を読むのは好きでした。読みかけたら他の事は放ったらかし、朝まで読み続ける事も多々ありました。今、楽しみにしているのは「あきない世傳金と銀」です。商売の表舞台に女が立つ事の許されなかった江戸時代の大阪で主人を支え、知恵を出し、やがて江戸へ行き、女主人として数々の困難に立ち向かう主人公の「買うての幸い、売っての幸せ」の信念は今の世にも通じます。大好きな着物がテーマのひとつでもあり発売されると一気に読んでしまい次号を一年間待っています。



前回例会報告



会長の時間では啐啄同時(そつたくどうじ)という言葉についてお話されました。鶏の雛が卵から生まれ出ようとするとき、殻の中から卵の殻をつついて音をたてます。これを「啐」と言います。そのとき、すかさず親鳥が外から殻をついばんで破る、これを「啄」と言います。

出席報告

	会員数	当日出席	メキップ ^o	出席率(%)
3月17日	51(11)	28(5)	0	62.22
2月24日	52(11)	32(5)	0	

そしてこの「啐」と「啄」が同時であってはじめて、殻が破れて雛が産まれるわけです。これは教育の場においても、学ぼうとする者と指導する者が同時に高みを目指せばより成長できるのではないかというお話でした。



卓話の時間では、彦根地方気象台長の赤石一英氏をお招きし、「気象変動と気象災害について」というテーマで卓話していただきました。

全国に4カ所だけ県庁所在地でない所に気象台があり、なぜ彦根がそうなのかはっきり記された資料は残っていませんが、個人的な見解としてはやはり大津は京都に近い気象データを取るために彦根に設置されたのではないだろうかとのことでした。続けて、明治29年9月に日降水量596.9mmの大雨で琵琶湖が増水して周辺が大洪水になったなどの過去の気象災害を紹介されました。そして、メインテーマとして滋賀県の気候変動についてお話されました。何も対策をしなければ21世紀末には滋賀県の気温上昇は4.3℃になり、猛暑日や真夏日が増えるのはもちろんのこと、激しい雨が降る回数が2.4倍になりその他の災害も増加すると警鐘を鳴らされました。また、気象庁の予算と職員が削減されている件にも危惧されていました。気象衛星にはかなりの予算がつき込まれますが、絶対必要なものなのでご理解いただきたい、気象庁は名前だけ有名ですが、非常に厳しい台所事情なので応援してほしいとのことでした。

おさま

赤石一英氏(ゲスト:彦根地方気象台長)

ニコニコ箱

(本日計 21,000円・累計 1,056,000円)

本日は気象庁彦根気象台長 赤石一英氏を講師にお迎

えいたしました。ありがとうございます…正村君
彦根地方気象台長 赤石一英氏、卓話よろしくお願

います…青木君

チョット良いことがありました…細江君

一寸うれしいことがありました…中川君

しばらくお休みをさせていただきました…本庄君

誕生日を祝っていただいて…小田柿君

妻の誕生日を祝っていただいて…後藤君

入会記念日を祝っていただいて…宮川君

嶋津様のお陰で張さんとのご縁をいただき、一年間一緒

に私も学ばせて頂きました。長年の夢であるロータリー

でお茶会を実現することができ感謝しております。

ご出席頂きました会員の皆様ありがとうございます

…藤井(事務局)

他クラブプログラム予定

3月25日(金)	長浜東RC	「職業奉仕月間にちなんで」
3月28日(月)	長浜RC	「長浜RC・長浜RAC 合同例会」
3月28日(月)	五・能RC	「お花見例会」
3月29日(火)	彦根南RC	「休会」